

目的

同じような事故を繰り返すことを少なくして、より安全な医療を提供

訪問看護の課題

- 個人の裁量で判断、行動する場面が多く個人の心理的負担が大きい
- 看護の提供は個人の自宅で、生活環境や場面によってリスク対策が変わる
- 報告書は、作成者によって出来にばらつきが出る
- 医療安全管理者による報告書内容のチェックや指導・助言の負担が大きい
- 報告書の入力に時間がかかってしまう

Nurse Buddyの作成

質問文を入力すると関連するインシデント報告書を参照し、簡潔に分かりやすく質問に回答するChatGPTシステムを開発

インシデント報告書の入力をサポートするChatGPTシステムを開発

＜処理の流れ＞

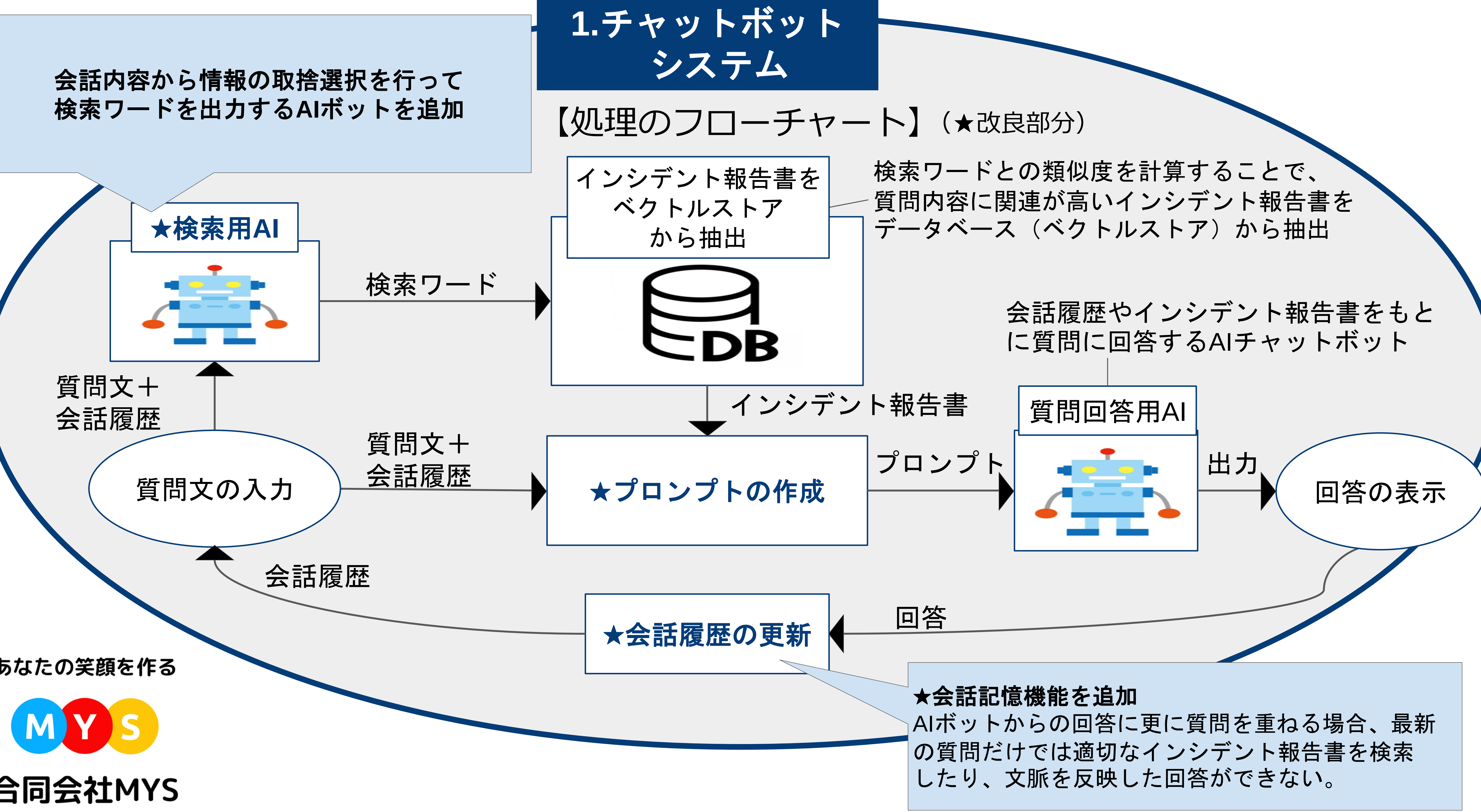
①チャットボットでの看護師を支援

類似事例の提示や相談対応により、現場をサポート

②報告書の入力支援

報告書の入力・チェックの負担軽減

報告書内容の質向上で対策を明確に



2. プロンプトの改善

質疑応答用プロンプト

質問内容に対する要約を、過去のインシデント報告書から抽出して出力する参考資料に記載されていない情報を用いないことで、AIによるハルシネーションを防ぐことができる。

入力サポート用プロンプト

会社名などの個人情報が書かれていると注意してくれるようにした。

敬語や敬称などを省くようにすることで読みやすい文章にすることが出来た。

日付や時間の書き方をそろえたり、助詞が間違っていたら直してくれるようにした。

まとめ

1. プロンプトエンジニアリングを行い、回答精度を向上させることができた。
2. 会話記憶機能を追加することで、質問を重ねる場合でも適切なお役立ち情報を検索でき、文脈を反映した回答ができた。
3. 会話の内容から情報を取捨選択し、適切な検索ワードを出力する検索用AIを追加した。

謝辞 合同会社MYSの皆様のご協力に心より御礼申し上げます。